

旭川工業高等専門学校		開講年度	令和06年度（2024年度）		授業科目	語学研修	
科目基礎情報							
科目番号	0003			科目区分	/		
授業形態				単位の種別と単位数	：1		
開設学科	専攻科共通			対象学年	専1		
開設期				週時間数	4		
教科書/教材							
担当教員	篁 耕司						
到達目標							
1. 海外でコミュニケーション能力を向上させようとする事ができる。 2. 外国人とのコミュニケーションを図ることができる。 3. 異なる文化を学ぶことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	意欲的積極的に海外でコミュニケーション能力を向上させようとする事ができる。		海外でコミュニケーション能力を向上させようとする事ができる。		海外でのコミュニケーション能力を向上させようとする事ができない。		
評価項目2	外国人と的確にコミュニケーションを図ることができる。		外国人とコミュニケーションを図ることができる。		外国人とコミュニケーションを図ることができない。		
評価項目3	異なる文化を学び、意欲的に尊重することができる。		異なる文化を学び、我が国の文化と比較することができる。		異なる文化を学ぼうとしない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	専攻科1，2年生が対象の科目で、日本の文化・歴史とは異なる国や地域に赴き、国際的に活躍できる技術者としての基礎的知見を得る。国際的に活躍できる技術者の育成を目指し、実際に外国に行き、異なる文化を持つ人々と積極的にコミュニケーションを図るための態度や能力の基礎を養う。現地ではESLコースの受講やExcursionを通して知識や見聞を広め、短期間での実践的コミュニケーション能力の向上を図る。						
授業の進め方・方法	この科目は、実際に海外において異文化コミュニケーションを体験することを目的としている。基礎的な英会話を初めとする事前研修、実際に海外の教育機関等において体験する英語コミュニケーション実習、帰国後に体験し、勉強したことを取りまとめて発表する報告会等の実施ノルマがあり、単なる海外体験とは異なる学習機会として臨むこと。日常接することのない異文化に触れる、母国語の日本語と異なる英語を常時用いるとなど、我が国に暮らしては体験できないことを学べる絶好の機会である。見るもの聞くもの、全てを吸収しようという意気込みを持ち、貴重な経験とすること。						
注意点	英語（外国語）科目、言語表現を始めとする人文系科目、我が国の文化・歴史を学ぶ社会系科目も関連科目となることを留意すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
	週	授業内容			週ごとの到達目標		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	報告書	口頭発表	その他（準備）				合計
総合評価割合	50	40	10	0	0	0	100
基礎的能力	10	10	0	0	0	0	20
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	40	30	10	0	0	0	80